

## 仙台市市民活動サポートセンターの機能強化について

### 1 前回委員会での意見

#### (1) 各委員からの意見

- ・ これまでも、1階でイベント、2階をギャラリーにという意見もあったので、フルモデルチェンジという意味では、吹き抜けにエレベーターを設置するなど、2階を活用するやり方があるのではないかと。
- ・ ソフト面も同時並行で進める必要あり。ソフト面の拡充を目指し、取り組みへの肉付け作業が必要。
- ・ サポートセンターのホームページに、学生ができるボランティアやインターンの情報を掲載するなど、ホームページでの情報提供を充実させてほしい。
- ・ 情報発信において、団体同士のつながりができたり、団体の意思が見えるような仕掛けが必要。また、利用者が気軽に対話でき、つながりが簡単にできるような工夫があってもいい。
- ・ 情報発信が少し足りない。施設のアピール等、外への情報発信の工夫が必要。
- ・ 多様な主体の交流の場となるよう、カフェが常設であるとよい。
- ・ 事務用ブースについては、丁寧な広報や募集のタイミングや期間次第で、ニーズを掘り起こせる可能性がある。必要であればまた設置数を増やすことも検討してほしい。

#### (2) 議論のまとめ

- ・ 1階・2階の同時利用は、改装費を含めて大がかりになるので、現実論としてどういう利用ができるか考える必要があり、今回バリアフリー化ができるかということは、予算と機能の全体を考える中での課題となる。
- ・ ハード面だけではなく、ソフト面も重要。こういう機能があるからこういう構造に変えたというソフト面とハード面の結びつきのシナリオがあると良い。
- ・ 中と外での情報発信、情報伝達の在り方、コミュニティビジネスの場など大事なポイントがいくつかあるが、全体像をみた上で、段階的に変えていくことも含めて考える必要があり、まず一回目としての目標と効果を今回どう出すかという視点が必要。

### 2 利用者等からの意見

別紙1 参照

#### (意見の概要)

##### ①主に現在サポートセンターを利用している方からの意見

- ・ 場の設置だけではなく、団体が直接情報発信できたり、団体同士の具体的な交流が生まれる機会を増やす
- ・ 協働の観点から、団体とサポートセンターのタイアップ企画の実施
- ・ 各施設機能の利便性向上

##### ②主にこれからサポートセンターの利用者となり得る方からの意見

- ・ サポートセンターの認知度向上、情報発信機能の向上

- ・「共に学ぶ場」の仕掛け作り

### 3 機能強化内容の検討

#### (1) 1階と2階の総合的活用

##### ①検討の視点

利用者が最もアクセスしやすいエントランス部分である1階と2階を交流の拠点として一体的に活用できるよう改装を行うことが最も望ましい。一方で、現状ではすべての利用者が2階にアクセスすることができず、エレベーター設置等のバリアフリー化が課題となる。

##### ②実施案

2階を含めた一体的活用のために必要となるバリアフリー策の一つであるエレベーター設置には次のような課題がある。

- ・床補強等の付加工事が必要（地下シアターに影響が及ぶ可能性）
- ・エレベーター設置による増床に伴い、全館に及ぶ消防法令対応工事が必要
- ・多額の費用が予想される上記の工事費用について、建物所有者と本市の負担のあり方の整理が必要

これらの課題については、法令上の基準等をクリアするための工事内容について、より精緻な検証が必要であり、エレベーター設置の可否についての判断は、現時点では難しい状況である。

したがって、今回の機能強化では、1階及び吹き抜けを活用した広がりのある空間創出により、機能強化の効果を高めるものとする。

#### (2) 1階の空間整備と事業の一体的展開

##### ①検討の視点

多様な主体が集い交流するためには、空間整備と連動して積極的なソフト事業の展開を図り、特にこれまで必ずしもセンターの利用が多くなかった主体へのアプローチを図ることが課題となる。

##### ②実施案

###### (ア) ハード面の整備

- ・多様な主体の交流や市民活動団体の取り組み紹介につながるワークショップや、ブースでの出店なども可能なイベントスペースとして使用できるよう改修。加えて、エントランスの風除室についても展示スペース（ギャラリー）として使用できるよう整備する。
- ・また、様々な主体の情報交換、意見交換を効果的にできるよう、ホワイトボードや掲示板などの配置を行う。

###### (イ) ソフト面での展開

- ・上記のコンセプトによる空間整備と連動して、下記の事業を積極的に展開する。
  - a) 市民活動団体の紹介や参加者の交流が図れるイベントの開催

- b) 様々な団体との共催による、セミナーやワークショップ、ミニステージ等の開催
- c) 多様な主体が参加し、様々なテーマで対話する場を設ける交流の場の創出
- d) 多くの利用者が来場する機会を捉え、カフェブース・物販等の出店  
(コミュニティビジネスの場として)

### (3) 5階交流サロンの機能向上

#### ①検討の視点

1階機能との棲み分けを意識し、1階は「出会いの場」としての機能強化を図るのに対し、5階は協働による様々なプロジェクトを生み出すためのミーティングスペースとして、これまで以上に機能性を向上させることが課題となる。

#### ②実施案

- ・様々なレイアウトに組み替え可能な什器や、液晶モニター・ホワイトボード・電源の配置等クリエイティブな思考や議論を助けるための機器等を可能な限り備え、活用性の向上を図る。
- ・また、1階と同様、様々な主体の情報交換、意見交換を効果的にできるよう、ホワイトボードや掲示板などの配置を行う。

### (4) 認知度の向上のためのアプローチ強化

#### ①検討の視点

市民活動サポートセンターがまだまだ多様な主体に知られていないという現状がある。施設自体に気軽に立ち寄って頂けるようにするための施設外観面での工夫と共に、効果的な情報発信の強化が課題となる。

#### ②実施案

##### (ア) ハード面の整備

- ・サポートセンターの認知度向上のため、施設壁面サインのLED化や、イベントや施設案内等を効果的に表示できる案内板を設置する。具体的方法については、今回実施分については予算等の諸条件を勘案しながら最も効果的な方法にて実施する。
- ・また、エントランスの風除室についても展示スペース（ギャラリー）として使用できるように整備することで外部へのアプローチを強化する。

##### (イ) ソフト面での展開

- ・ハード面で整備する案内板にタイムリーな情報を載せ、常に施設への関心が得られるよう運用する。
- ・また、センターの広報強化の一環として、多様な主体が実施する外部イベントやセミナーへスタッフが積極的に参加しセンターのPRを図り、施設等との連携やキーパーソンへのアプローチを通して認知度向上を図る。

### (5) 情報提供機能の強化

①検討の視点

これまで以上に、市民活動や協働についての情報にアクセスしやすくする仕組みの強化や、団体自身が情報発信したり交流できる仕掛けを構築していくことが課題となる。

②実施案

- ・ホームページを改修し、仙台市ボランティアセンターやみやぎ NPO ナビ、各大学のページ等情報提供を行っている機関のホームページと連携を図り、ポータルサイトとしてさらに活用しやすく整備する。また、チラシ配架コーナー等に QR コードを掲示し、スマートフォンユーザーがホームページにアクセスしやすくする等の工夫を行う。
- ・また、1階を中心に、市民活動団体の紹介や参加者との交流が活発に行われる各種イベントを定期的で開催するとともに、市民活動団体や他機関との連携による取り組みを強化し、協働の創出に資する事業を展開する。

(6) 利便性等の向上

①検討の視点

利用者からの要望等に基づく利便性向上のための取り組みのうち、今回の機能強化に合わせて実施することが効果的なものを実施していく。

②実施案

- ・受付の配置変更※による利便性の向上、相談しやすい環境の強化
- ・要望の多い貸出備品の整備（液晶モニター等）
- ・研修室の使いやすさの向上（特に研修室3）
- ・スタッフのサポート等を中心としたバリアフリーへの対応

※受付の配置変更に関連して暫定的に縮小となる事務用ブースについては、ニーズを踏まえた必要数の検討を随時行っていく。

4 今後のスケジュール

(1) 事業者選定について

施設改修の設計・施工及び什器・備品の納入を一括で実施でき、かつクリエイティブな空間デザインにノウハウのある複数の事業者からの企画提案を受け選定する。

(2) スケジュールについて

